

1 本園の教育目標

明るく逞しく、心豊かで、調和のとれた人間性の基礎を育む

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・異年齢で関われるような環境を工夫し、保育者同士も互いの保育を研究し合える機会をつくる
- ・幼児が安心して世界を広げ、自ら繰り返し挑戦できるような環境づくりに取り組む

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
I 保育の計画性	A	異年齢での遊びと同年齢での遊びの両方の姿を捉え、記録を作り、職員間で語り合うことを継続している。記録や語り合いをもとに一人ひとりの発達の理解を深めながら、幼児がともに刺激し合える環境づくりや保育計画に取り組んだ。
II 保育の在り方	A	幼児の興味関心を様々な視点から探り、子どもの興味の変化に対応したり、もっと主体性を発揮できるような活動を教師が提案したり、遊び道具等の見直しなどは常に行っている。教職員全員が一つのチームという意識を持って、情報交換をしながら保育を行った。
III 教師としての資質・能力	A	教職員一人ひとりの主体性が発揮される環境づくりに取り組み、語り合える環境と機会を充実させてきた。
IV 保護者対応	A	1年間のなかでそれぞれの学年で給食参観および試食会を行い、園の特色を知らせたり、特別な行事に限らず園の日常の様子をホームページやInstagramで積極的に発信したりした。保護者アンケート等の意見や評価を参考に行事の内容の見直しを行った。
V 研究と修養	A	防災、減災力をあげるために外部の機関の協力を仰ぎ、BCP策定や学校安全計画、危機管理マニュアルの見直しや確認を行い、教員間でもリスクマネジメント、クライシスマネジメントについて共通理解を図った。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	教師一人ひとりが自主性、主体性を持って保育に取り組んでいる。 今年度は特に異年齢の関わりを大切に、保育計画や環境を柔軟に変化させながら保育を展開し、教育内容の充実に努めた。

	運動会ではこれまで学年ごとに行っていた競技を、全学年で案を出しあい、準備をしてきた内容の競技に変更したことは、保護者にも大変好評であった。
--	---

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 5 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取組方法
1	安全対策・危機管理	令和7年度に作成したBCPは今後も見直しを行いながら、災害時に必要であろう備品の準備や備蓄品の充実をはかっていく。 研修や訓練にも引き続き積極的に参加し、園全体はもちろん、個人の危機管理能力も高めていく。
2	保護者対応・子育て支援	今年度開始した未就園児親子登園の充実に引き続き取り組み、園の存在や活動について知ってもらうため、園庭開放や子育てイベントなどを開催し園に訪れる機会を増やしたり、地域の子育て家庭の方の居場所となるような支援にも目を向けたりしていく。
3	自分自身や互いの保育の良さと課題を明らかにする	園内で互いの保育を見合うことで子ども理解を深めると同時に、研修会等で他園の保育を参観する機会を活用し、さらなる保育の質の向上につながるよう自分の保育を振り返り、スキルアップできるような園内研修を行う。

## 6 学校関係者評価委員の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方針、運営方針においては地域特性を生かし運営していることを認める。しかし少子超高齢化の現代、園児募集においては、人口構成・分布等を公的機関から公表されたデータを基に、細やかな配慮が必要。特に、卒園児保護者との連携を保つことは重要であり、「口伝え」伝搬によるが学校評価を高め、大切にすることは重要である。</li> <li>・BCP 事業継続計画は不慮の災害時等に重要であるが、職員の理解と災害時における役割等の理解が大切であり、年間複数回は避難訓練、BCP 訓練、引き渡し訓練の実施訓練を行うのが望ましい。また緊急時には、近隣住民の方への協力依頼も大切と考える。保護者引き渡しルール、食糧備蓄も大切であり、特に飲料水は不可欠。園児たちのためには、キャラメル等の甘味も精神安定に役立てると考える。</li> <li>・危機管理マニュアルの見直しなどに取り組んでいることがよく分かり、形にするだけでなく、教員間で共通理解を図りながら進めている点に安心感を覚えた。子どもの命を守るための備えを日頃から丁寧に積み重ねていることは、大変意義のある取組だと感じた。</li> <li>・教師一人ひとりが自主性・主体性をもって保育に取り組んでいる。7年度は異年齢間でのかわりを重視し、保育者同士の協働による保育の質の向上に努めた。運動会では全学年で話し合い、新しい内容を実施したところ成果をあげ、大規模災害の発生に備えBCPを策定し、職員間での危機管理能力の向上を図り防災・減災力を高めている。</li> </ul>
---

- ・今後の取組として「未就園児親子登園の充実」を計画しており、地域や家庭の子育て支援に貢献するとともに、園児獲得にも繋がると期待している。カトリック保育に関しても充実しており、園全体に共有している。
- ・重点的に取り組む目標・計画において、異年齢で関われるような環境の工夫として給食で縦割りを実施したことなど、常に子どもの反応や様子を丁寧に把握しており、こうした取り組む姿勢が教育内容の充実につながっていると思う。今後も期待している。